

健康女性、凍結卵子で出産 国内初、大阪の44歳

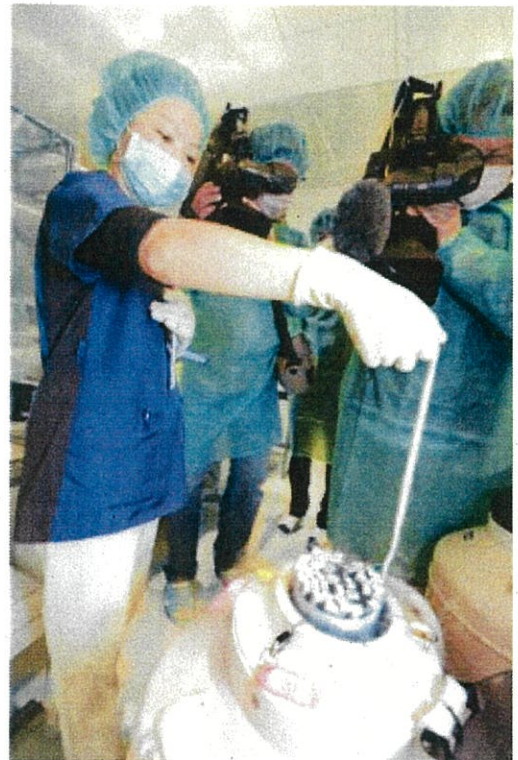
2016/2/2 12:21

👍 10 10 見る 0

[いいね!](#) [シェア](#) [ツイート](#) [ブックマーク](#)

独身のころ自分の卵子を凍結保存した大阪府内の女性看護師（44）が、その卵子を使って妊娠、昨年出産していたことが2日、分かった。これまで、放射線治療による不妊症のリスクに備え、がん患者らが凍結卵子を使い妊娠、出産した例はあったが、健康な女性の出産が明らかになったことはなく、国内初とみられる。

卵子を凍結したクリニック「オーク住吉産婦人科」（大阪市）によると、女性は独身だった12年から、自分の卵子を複数回にわたり凍結。結婚後の14年に卵子を解凍、夫の精子を使って体外受精を行い女兒を出産した。女性は仕事が多忙で、結婚の予定もなかったが将来の出産を希望していた。



凍結保存された卵子を出して見せる「オーク住吉産婦人科」の関係者＝2日、大阪市西成区